

## 徳島県の地球温暖化対策推進計画について

## ～中間取りまとめの骨子～

## (1) 計画の趣旨

低炭素社会の実現を効果的に推進するためには、中長期的ビジョンのもと、目標やこのための具体的な施策を明確にし、すべての主体が共通の認識のもと、総合的かつ計画的に取り組むことが求められている。

そこで、新たに計画を策定し、国の施策を踏まえつつ、本県の自然的社会的特色を生かし、工夫を凝らした地球温暖化対策に、産学民官が連携・協働し、県民総ぐるみで取り組む。

## (2) 目標

## ① 目指すべき姿（2050年までの長期目標）

「環境の世紀をリードする低炭素社会とくしま」の実現

## ② 温室効果ガスの排出量の削減目標（2020年までの中期目標）

「県民共通の数値目標」として設定

## 中期目標

2020年の温室効果ガスの総排出量を、1990年比で25%削減すること

※ 削減目標25%の内訳

・ 本県における排出削減量（1990年比で 6.5～8.2%）

・ 本県における森林吸収量（1990年比で 6.4～9.2%）

・ 国外クレジット分（1990年比で 10.0%）

合計（1990年比で 23.0～27.4%） → 目標25%

※ 今後の国の動向を踏まえ、必要に応じて見直しを行うこととする。

## (3) 目標達成に向けた施策の展開

## ① 中期的取組み

中期目標を達成するための今後10年間の取組みを設定。

## 部門別の取組み

- (1) 産業部門
- (2) 家庭部門
- (3) 業務部門
- (4) 運輸部門
- (5) 廃棄物部門

## 部門横断的な取組み

- (1) 再生可能エネルギー等の普及拡大
- (2) まちづくり
- (3) 森づくり
- (4) 普及・啓発等
- (5) 賢い対応（適応）

## ② 重点的取組み

「重点的取組み」として、今後4年間において特に重点的に取り組むべきテーマ別のプログラム「重点プログラム」を設定。

## 重点プログラム

- (1) 省エネ・省資源推進プログラム
- (2) エコ通勤・エコカー普及プログラム
- (3) エネルギーの地産地消プログラム
- (4) 緑化・オフセットプログラム
- (5) 環境活動・環境学習推進プログラム

区分	2015年	
	対策等による削減見込み量	対策・技術と削減効果(主なもの)
エネルギー転換部門	0	※エネルギー転換部門分のうち産業部門及び民生部門で消費する電力に由来する削減見込量はそれぞれの部門で計上(産業部門:-89.5、民生部門:-111.7)
産業部門	-164	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新エネルギーの導入(バイオマス等) ----- -6.9</li> <li>・農業分野の効率化(加温ハウスにヒートポンプ及び多層被覆を導入) ----- -2.7</li> <li>・製造業での省エネ化(事業者アンケート結果を参考) ----- -65.2</li> </ul>
民生部門	-517	
家庭系	-242	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭におけるエコライフの推進 ----- -8.9</li> <li>・省エネ家電の普及推進 ----- -95.6</li> <li>・省エネ型給湯器の導入 ----- -33.7 (CO<sub>2</sub>冷媒ヒートポンプ<sup>®</sup> 46千台、潜熱回収型給湯器 40千台)</li> <li>・住宅の省エネ対策の推進 ----- -18.5 (新築住宅の半数が平成11年基準を残り平成4年基準を満足 ～新築住宅の100%が平成11年基準を満足)</li> <li>・LED照明等の高効率照明の導入(普及率 5%~10%) ----- -6.1</li> <li>・新エネルギーの導入 ----- -20.8 (太陽光発電(住宅)15千台、太陽熱温水器 24千台~26千台)</li> </ul>
業務系	-275	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場における省エネルギー行動 ----- -2.0</li> <li>・省エネ設備の普及(OA機器類、エアコン等) ----- -162.9</li> <li>・建築物の省エネ対策の推進 ----- -43.0 (新築建築物の半数が平成11年基準を残り平成4年基準を満足 ～新築建築物の100%が平成11年基準を満足)</li> <li>・LED照明等の高効率照明の導入(普及率 5%~10%) ----- -7.3</li> <li>・新エネルギーの導入(太陽光発電(非住宅)7千kW~21千kW) ----- -6.6</li> </ul>
運輸部門	-222	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコドライブ、アイドリングストップの実践 ----- -34.6</li> <li>・公共交通機関や自転車の利用促進 ----- -6.9</li> <li>・燃費の優れた自動車への買い替え ----- -164.7</li> <li>・輸送用燃料におけるバイオマス熱利用(2.3千kL) ----- -6.0</li> <li>・自動車以外(鉄道、国内船舶、国内航空)の取組み改善 ----- -9.3</li> </ul>
工業プロセス	0	
廃棄物部門	-34	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般廃棄物の排出抑制 ----- -6.9</li> <li>・産業廃棄物の排出抑制 ----- -27.5</li> </ul>
小計	-937	
その他	-23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メタンの削減(エネルギー使用) ----- -0.3</li> <li>・一酸化二窒素の削減(エネルギー使用の低減など) ----- -6.0</li> <li>・代替フロン類の削減(業務用冷凍空調機器でのHFC冷媒の回収量改善等) ----- -16.7</li> </ul>
合計	-960	